

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。
います。

組合員及び地域住民の皆様とともに輝かしい新年を迎えられたことに謹んでご祝詞を申し上げます。日頃より農協の各事業におきましては、格別なるご理解とご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと新型コロナウイルスが5類に移行されたことから、外出自粛の要請など行動制限がなくなり、社会経済活動が活発化しました。全国各地でイベントが再開されるとともに、海外からのインバウンド需要が復活し、観光地は大勢の人出で賑わいを取り戻しました。反面、人手不足が顕著化し、特に飲食店やホテル業は客の受け入れに苦慮

している状況にあります。

また、農協・農業を取りまく情勢については、就農人口の減少や生産農家の高齢化、後継者不足による耕作放棄地の増加等の諸問題に直面しているなか、ICT（情報通信技術）を活用した補助労働力の確保がすすんでおります。企業援農ボランティアや日本航空（株）の援農なども継続しており、農家の労働力不足に対応してきました。当JAの主力作物であるりんごについては、春先から高温多照で天候に恵まれ、生育はかなり早く推移し、凍霜害の被害はあったものの着果量は確保でき順調に推移しました。しかし、夏場の高温によるヤケ果やサビ果、褐斑病などの病害、さらには鳥獣被害が多く



相馬村農業協同組合
代表理事組合長

大場 勉

発生し、入庫数量は556,446箱（前年比76%）と平成3年に次ぐ減収となりました。また、稲作については、生育期間は好天に恵まれ順調に推移しましたが、出穂期間中の高温により白未熟粒が多発し、6割が2等米の格付けになり、自主流通米5,148俵（前年比96%）の実績になりました。

りんごの販売につきましては、全国的な天候不順や鳥獣被害の影響により、青果物全般に流通量が極めて少ないため、早生種の「サンつがる」が上位等級品を中心に高値基調でのスタートとなりました。中生種の「早生ふじ」「シナノスイート」につきましても品薄傾向が続き、順調な販売となりました。一方、輸出向けにつきましては、早生種の「きおう」の香港向けが中国の風評被害の影響により、低調なスタートとなったものの「トキ」については、台湾向けの引き合いが順調で「シナノスイート」も高値での取引となりました。主力である「サンふじ」につきましても品薄傾向で、上位等級品がさらに少ないなかでギフト需要が例年通

りに多く、受注を抑制することとなりました。春節向け「サンふじ」「有袋ふじ」「金星」についても、上位等級品、大玉が極めて少ないことから販売は限定され、高値での取引となりました。今後の販売につきましても、国内はもとより海外での企画を促進することにより、高値販売に取り組んでまいります。

近年、農業生産基盤が急速に脆弱化していくことが強く懸念される中、経営・振興3ヵ年計画の2年度目として、これまでに農業所得の向上、生産基盤の強化に取り組むとともに、内部監査・リスク体制を機能強化し、JAの健全経営の維持に努めて参ります。地域に根ざした組織として、組合員ならびに利用者の皆様から愛されるJA相馬村をめざし、役職員が一元となって取組んでまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願いします

本年も大きな災害の無いことを祈りつつ、組合員及び地域住民の皆様が健やかで笑顔に暮せることを願い新年のあいさついたします。

専務理事

三上隆基

理事金融共済部長

山内利彦

理事経済委員長

花田勇人

理事総務委員長

花田敏幸

理事

田澤俊明

理事

田澤真由美

理事

溝江翼

代表監事

藤田伸

監事

山内知人

員外監事

岩谷健

他職員一同